

科目名	法学 Law			担当教員	山岡健次郎		
学 年	5年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	12G05_20310	単位区別	履修
学習目標	法と社会との関係性について学ぶ。私たちは日々、法に取り囲まれて生活しているが、法を意識することは少ない。法は私たちの生活とどのような接点を持つのか。法の限界とは何か。そうした問題について原理的に考えていく。						
進め方	講義形式で行う。 必要に応じて、学生による文献発表なども取り入れていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. イントロダクション (2) 2. 法はあなたにとってどういう存在か (3) 3. 何のための国家か (2) 4. 平和と自己防衛を目指す国家 (2) 5. 個人の権利を保障する国家 (2) 6. 自由を保全する国家 (2) 7. 永遠に完成しない国家 (2)			法についての原理的な理解を深める		A3:1	
	[前期中間試験] (2)			国家と法との歴史的関係性を理解する		A3:2	
	8. 答案返却・解答 (1) 9. 人々がともに生きるための立憲主義 (2) 10. 法の規範性と強制力 (2) 11. 法と道德の関係 (2) 12. 法が法として機能する条件 (2) 13. 法と国家—どちらが先か (2) 14. なぜ多数決か (2) 15. 民主政の過去から学ぶ (2)			立憲主義の精神を把握する		A3:3	
	前期末試験			過去の事例から民主制のあり方を問う		A3:2	
	16. 答案返却・解答 (1) 17. 法に従う義務はあるか (2) 18. 憲法とはなにか (2) 19. 刑法の基礎 (2) 20. 刑事訴訟法の基礎 (2) 21. 裁判員制度について (2) 22. パスポートという制度 (2) 23. 国際労働力移動と法 (2)			憲法の根本原理を把握する		A3:3	
	[後期中間試験] (2)			裁判員制度についての理解を深める		A3:2	
	24. 答案返却・解答 (1) 25. 国民と外国人 (3) 26. 外国人定住化問題 (3) 27. 難民とは誰か (3) 28. 法の限界 (2) 29. まとめ (2)			グローバル化する人の移動と法との関係性を理解する		A3:2	
	後期末試験			法の限界を知る		A3:1	
	30. 答案返却・解答 (1)						
評価方法	4回の定期試験の平均点によって評価。						
履修要件	特になし						
関連科目	政治経済 (3年)						
教 材	教科書：長谷部恭男 著『法とは何か 法思想史入門』 河出ブックス						
備 考	特になし						